

Kirari

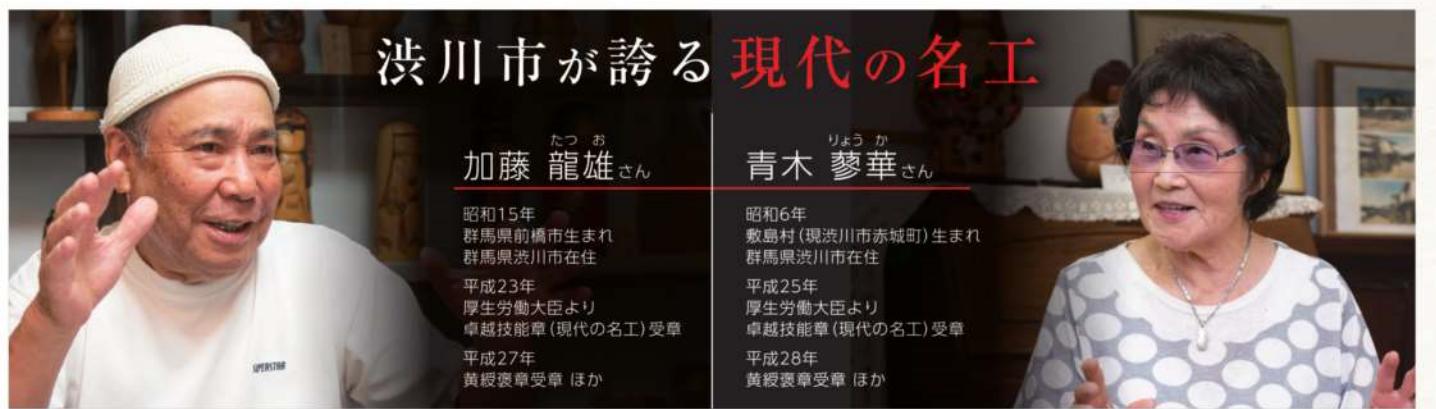
しぶかわ

02
2020.10



渋川市の
進化する伝統工芸

創作こけし
の魅
力



渋川市が誇る現代の名工

加藤 龍雄さん

昭和15年
群馬県前橋市生まれ
群馬県渋川市在住
平成23年
厚生労働大臣より
卓越技能章(現代の名工)受章
平成27年
黄綬褒章受章 ほか

青木 莉華さん

昭和6年
敷島村(現渋川市赤城町)生まれ
群馬県渋川市在住
平成25年
厚生労働大臣より
卓越技能章(現代の名工)受章
平成28年
黄綬褒章受章 ほか

創作こけしと伝統こけしの違い
作家の感性を映す
創作こけし



創作こけしは、伝統こけしと
違い、それぞれの作品に作家独
自の感性が強く表現されている
ことが特徴です。

加藤さんの生み出す作品は、
自身の幼い頃の発想を
引き出し、遊びの中で
学んだことや、日本の
四季を通じて心に残つ
た出来事を、感性と結
び合わせることで人形
の想いとして作品に蘇
るといいます。

**感性を養うことで
生まれる独自の世界観**
常にデザインを考え、斬新な
作風に挑戦する加藤さんは、独
自の作品を産み続けるために
は、特に自分の感性を養うこと
が必要だと語ります。



思い入れのある作品
夕月
創作こけし



高校時代に京都を訪れた加藤さんは、路地で朱色の帯を垂らした舞妓さんと目と目が合いました。その時の姿や夕焼け、雲などが深く印象に残り、その情景を独自の感性で表現した作品です。

創作こけしの楽しみ方

青木さんのギャラリーには、
200点を超えるほど的作品が
展示されています。訪れた人の
中には、こけしといえば茶だん
すに入っている観光地用のかわ
いい物を想像している人も
多く「これが
こけし!」と
その大きさと
織細なデザイ
ンに驚かれる
そうです。

創作こけしは顔が命
「こけしの人形というのは、
顔が命なの。特に目ね。」と青木
さんは語ります。青木さんの絵
付けは、先に胴体、そして最後
に顔を描き仕上げます。一つ一
つの作品のタイトルに合わせた
表情を丁寧に描き分け、人形に
魂を吹き込んでいく
ことで、観た人
を魅了し続ける作
品が生まれるので
す。

思い入れのある作品
七福神
創作こけし



人形の着物に描かれているのは、大きな鉢でお酒を飲みまわし、目をキラキラさせて酔っている七福神です。人形が「私は飲めないのにいつまで酔っているの?」という表情で見下ろしています。

渋川市の進化していく美術工芸品

創作こけしの魅力

創作こけしとは

全国の観光地で土産物と
して見かける伝統的なこけ
しを基礎としながらも、特
定の形や模様の決まりがな
く、作者の自由な発想で造
形されたこけしを「創作こけ
し」といいます。



現代の名工とは

卓越した技能者(現代の名工)
厚生労働省が創設したこの制度は、卓越した技能を
持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰
するもので、技能の世界で活躍する職人や技能の世界
を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能水準の
向上を図ることを目的としています。



蝶々婦人
創作こけし
現代の名工
故 関口三作作

渋川市と創作こけしの関わり

全国一位の創作こけしの生産量を担う群馬県
の中でも、渋川市には「現代の名工」や「黄綬
褒章」受章者を含む多くの作家らで構成
する「渋川こけし人形会」と相互連携の
協定を結び、創作こけしの振興と後継
者育成に取り組んでいます。

渋川市は、地元のこけし作家らで構成
する「渋川こけし人形会」と相互連携の
協定を結び、創作こけしの振興と後継
者育成に取り組んでいます。

動画で見よう!



創作こけしの制作工程や渋川こけし人形会会長の
インタビューを作品の一部と一緒に紹介します。
受け継がれる伝統工芸「創作こけし」の
魅力をご確認ください。



同時開催

第26回展企画
「渋川市内高校生による創作こけし」
10月31日(土)、11月1日(日)のみ



○開催日時：令和2年10月29日(木)～11月5日(木)
午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
※最終日は午後4時まで(入場は午後3時30分まで)
○開催場所：渋川市民会館小ホール
○入場料：無料
○お問合せ：渋川市生涯学習課 ☎0279-22-2500

新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては内容が変更になることもあります。



作家の独自性に重きを置く
芸術性をぜひあなたのその目で

第26回

全国創作こけし 美術展 in 渋川

創作こけしとその作家たち

全国でも珍しいコンクール形式でない創作こけし美術展です。平成6年(1994年)から、毎年渋川市で開催しています。



日本を代表する現代の名工や黄綬褒章受章作家、ハンガリ一人の作家など、日本全国で活躍している作家45人、約110点の作品が渋川市に一堂に会します。会場では、作家と直接会話することができます。それぞれの作家による、独自の世界が写し出された創作こけしの魅力をぜひ会場でご堪能ください。



地域おこし協力隊による
実演も行っています!



ギャラリー内では、地域おこし協力隊の大野雄哉さんが、こけし作りの技術や知識の習得に励んでおり、実際の制作風景をご覧いただけます。



作品は定期的に入れ替えられています。休日がないため、いつでも鑑賞できます。ぜひお越しください。問い合わせは、下記渋川市商工振興課まで。



○所在地：渋川駅前プラザ2階
○開館時間：午前9時～午後7時
○入場料：無料
○定休日：なし(臨時休業をする場合があります)
○お問合せ：渋川市商工振興課 ☎0279-22-2596

できるのは、やはり実際に作品を鑑賞することです。渋川駅前プラザ2階「渋川創作こけしギヤラリー」では、渋川こけし人形会員の作品を中心に、約30点の作品を展示しています。

渋川創作こけし ギヤラリー

入場無料

魅力的な創作こけしがいつでも鑑賞できる



こけしの
絵付けを体験!



渋川駅前プラザ1階にある渋川地区名産品センター「しぶさん」にて、白地のこけしを購入いただき、ギャラリー内で絵付け体験を楽しむことができます。絵付けの用具は、ギャラリー内に常設しております。体験は無料です。

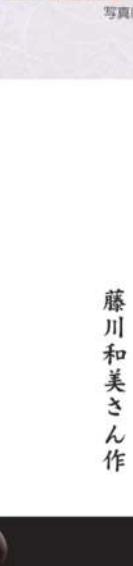
写真は、2018年9月に開催された第25回展の様子です。



「水輪」
藤川正衛さん作



「ホシオビ」
沖泰宣さん作



「春淡し」
藤川和美さん作



「白い砂浜」
藤川和美さん作



「秋の光」
岡本有司さん作



「紅椿」
田中重巳さん作



「よそおい」
沖いづみさん作



「ありがとう」
田村昇さん作



Part2 俳優 渋川 清彦さん

▶渋川市の想い

渋川市に帰ってくるとやっぱり安心します。田舎が好きなんですね。

以前主演させていただいた映画『榎田貿易堂』は、同じ渋川市出身の飯塚健監督のもと故郷渋川市で撮影しました。高校の同級生、地元の友達、多くの渋川市の人手伝ってくれて完成した作品、そして、子どもの頃から見てきた景色がスクリーンを通じて全国の劇場やドイツの映画祭で流れたことは、本当にうれしかったです。

もし次に同じような幸運に巡り会えたら、今度は赤城の歌舞伎舞台とかでも撮りたいですね。



▶渋川市に帰ってきたときに行く場所

よく行くのは、ホルモンとら屋、旬菜 遊ふ亀、マーキームーン、ジャングルスィートとかで飲んでます。同級生だったり、映画の話で盛り上がったり、とにかく落ち着く場所です。坂下の伊勢屋も好きです。

両親と一緒に近所の中国料理四川、焼肉 あおぞら、小野上のきのこ茶屋とかにも行きますよ。先々で「お帰り」って言ってくれるので、またいつでも帰ってこようという気持ちになります。

▶おすすめポイント

子どもと帰ってくるときは、スカイランドパークとか伊香保温泉の清芳亭 湯の花饅頭はお土産に買って東京に戻ることがあります。近所の雷亭のもつ煮も好きですね。

でも、撮影で九州に行ったとき、地元の人から針塚農産の漬物が好きといわれたときは驚きました。誰にあげてもおいしいって喜んでくれます。

<取材協力>株式会社ディケイド、ジャングルスィート



(C) 野村佐紀子『BARFOUT!』



ジャングルスィート

Profile

渋川市出身。俳優。第32回日刊スポーツ映画大賞 助演男優賞受賞。“監督が今、最も使いたい俳優”として多くの作品に出演し圧倒的な存在感をみせる。TBS金曜ドラマ「恋する母たち」に出演。



（所属事務所ホームページ）



渋川スカイランドパーク



伊香保温泉の清芳亭 湯の花饅頭

有料広告